

夢 塾 だ よ り

～「ありがとう」～

(83号) 令和6年6月25日



梅雨が明け連日、暑い日になりました。

ダムの水が平均値を下回ると、人は雨を乞い、雨が降り、満水になると雨はもういいと言い、梅雨が終わると暑い暑いとこぼす。自分の都合のいいように願うばかりではなく、自然に対し畏敬の念と感謝の心を持ちたいものですね。

そのような人間社会に潤いをもたらすのが「ありがとう」の言葉だと思います。それをもらったらいい気分になりますし、お互いに次へのエネルギーになります。

私は、生徒から手渡しでお月謝を頂いていますが、必ず「ありがとう」と受け取っています。生徒が親御さんから手渡されたとき、親御さんに「ありがとう」と言える子は、きっと心豊かで素敵な人に成長していくと思います。さらに、「愛」をもって「ありがとう」と言いたいです。「愛」という文字。よく見ると心が真ん中にあるんです。愛することとは、心を受け入れることなのです。

あなたの心を受けとめました。「ありがとう」と。